

転倒・骨折・頭部外傷

所属_____

氏名_____

高齢者に多い疾患－転倒・骨折・頭部外傷
問題 1 誤りはどれ？

- ①高齢者の転倒・転落は、寝たきりの原因の一つである。
- ②いすから立ち上がる時や座る時は、あまり転ばない。
- ③起立性低血圧が原因で転ぶ場合もある。
- ④ベッドから車いすに移乗しようとして、転落することが多い。

MEMO

高齢者に多い疾患－転倒・骨折・頭部外傷
問題2 誤りはどれ？

- ①高齢者の骨折で多いのは，大腿骨頸部骨折である。
- ②居室の環境整備では，転倒や転落を防止することはできない。
- ③女性は，閉経を過ぎたころよりホルモンの関係で骨粗鬆症になりやすく，転倒時の骨折が多くなる。
- ④てんかん発作があると，突然に転倒する可能性があるので，頭部の保護が必要。

MEMO

高齢者に多い疾患－転倒・骨折・頭部外傷

問題3 誤りはどれ？

- ①骨折しているかもしれない場合には、疑われる箇所を動かしてみる。
- ②転倒時に頭をぶつけた場合は頭部外傷の危険性が高いので、速やかに受診する。
- ③頭をぶつけた場合、その時には特に問題がなくても、硬膜下出血を起こしていると長い時間をかけて症状が悪化することがある。
- ④転倒や転落後に痛みを訴え、腫れてきた場合は、骨折の可能性が高いので速やかに整形外科を受診する

MEMO

高齢者に多い疾患－転倒・骨折・頭部外傷

問題4 誤りはどれ？

- ①骨密度検査は、骨の中のカルシウムなどのミネラルの量を測定することで骨の強さを判断するものである。
- ②骨を強くする食材としては、桜えび、しらす干し、煮干しなど小魚が有効である。
- ③骨を構成する成分はほとんどがカルシウムである。
- ④骨を強くするためには、タンパク質、カルシウム、ビタミンDなどの栄養素をたっぷり摂取することが重要である。

MEMO

高齢者に多い疾患－転倒・骨折・頭部外傷

問題5 誤りはどれ？

- ①円背のある高齢者は、重心が後ろにあるために膝を曲げて前方に重心が移動するように踏ん張っており、そのために転倒しやすい。
- ②要介護者が、転倒を繰り返す場合は、環境、内服薬、歩行状態、介助の方法、福祉用具の活用など再度、総合的なアセスメントを行う必要がある。
- ③厳密にカロリー制限をすることと骨粗鬆症の悪化とは関係がない。
- ④てんかん発作の時は、倒れた時に、頭部等に外傷が生じないように、周囲にある固いものや尖っているものを遠くに移動させることが重要である。

MEMO

高齢者に多い疾患-転倒・骨折・頭部外傷
問題6 事例問題

利用者さんが介護施設の居室にひとりである時、居室のトイレに行こうとして、スリッパをはいて滑って転んでしまった。

臀部を強く床にぶつけた様子で。後方に臀部から倒れたらしい。

自分では起き上がれず、介護職員が2名で介助して、ベッドに安静臥床している。

介護職員としてのその後の対応、及び転倒予防の改善策を述べなさい。

MEMO
